



パスファインダー Pathfinder ~あるテーマについて調べる際に、役立つ資料や調べ方を紹介します~

学術雑誌、専門雑誌、一般総合誌などに掲載された論文を「雑誌論文」と言います。あるテーマに関して新しい情報を得たい時には、雑誌論文が役に立ちます。

## 1. 雑誌論文を探すには

研究者は研究成果をまず学術雑誌に投稿して公表することが多いので、雑誌論文から各分野の最新の情報を知ることができます。また、これらの論文をまとめた図書が出版されるまでには時間がかかったり、図書には収録されず、雑誌でしか読めない論文もあります。

図書や雑誌などに雑誌論文が引用されたり、参考文献として紹介されている場合、次のような項目が表記されています。(略称の場合もあります。)

「論文名」「著者名」「掲載誌名」「巻号(通巻)」「掲載頁(開始頁-終了頁)」「掲載誌の発行年月日」  
これらの情報を手がかりに、論文を探します。

また、論文名などがわからない時には、探したい論文のテーマ・内容から連想される「キーワード」を設定して探します。

たくさんの雑誌の中から目的の論文を見つけるためには、雑誌記事索引のデータベースの利用が有効です。

## 2. インターネットで探す

インターネット上に一般公開されているデータベースを紹介します。

N D L - O P A C 雑誌記事検索 <国立国会図書館>

国立国会図書館が所蔵する雑誌の記事や論文の検索ができるデータベースです。( <http://www.ndl.go.jp/> )

C i N i i A r t i c l e s <国立情報学研究所>

学術論文を中心とした論文情報のデータベースです。学協会刊行物・国内の大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどの論文情報の検索ができ、一部の論文は本文を PDF で閲覧できます。

( <http://ci.nii.ac.jp/> )

J - S T A G E <科学技術振興機構>

日本国内の科学技術情報のデータベースです。国内の学協会の電子ジャーナルに掲載された論文を中心に検索できます。( <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja> )

G o o g l e S c h o l a r

Google が提供する検索サービスです。論文、要約、学術誌、出版物などが検索できます。

( <http://scholar.google.co.jp/> )

- データベースによって雑誌の収録範囲が異なります。複数のデータベースで調べてみましょう。
- 論文がうまく見つからないときは、キーワードを変えてみましょう。
- 漢字、ひらがな、カタカナなど、表記が違う場合もありますので、表記を変えて検索し直してみましょう。



### 3. オンライン・データベースで探す

山梨県立図書館で利用可能な、雑誌記事が検索できるオンライン・データベースを紹介します。

#### 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

デジタル化された国会図書館所蔵資料を検索することができます。図書(明治期～1968年受入)、古典籍、雑誌(明治期～2000年刊行)、博士論文(1991年～2000年度受入)などの資料を閲覧できます。

タイトルの右に「国立国会図書館/図書館送信限定」のマークが表示されているものと、何もマークが表示されていない資料は、本文の画像を閲覧することができます。

#### MAGAZINEPLUS(マガジンプラス)

一般誌から専門誌、大学紀要、海外誌紙まで収録した日本最大規模の戦後の雑誌・論文記事検索データベースです。学会年報、論文集や一般雑誌、地方誌などの情報を見ることができます。但し、一部の雑誌を除いて、論文、記事の本文を見ることはできません。

#### D1-Law.com(法情報総合データベース)

法令(憲法・法律・政令・勅令・府令・政令・規則)の現行法規(過去法令、未施行法令を含む)、判例とその要旨・解説、及び「ジュリスト」「判例時報」などの法関連や判例の文献情報を検索でき、一部紙面の閲覧ができます。

#### 朝日新聞記事データベース「聞蔵 テキスト・フォーライブラリー」

「朝日新聞」(昭和60(1985)年以降、全地域面も含む)のほか、「週刊朝日」(ニュース面は平成12(2000)年4月以降)、「AERA」(昭和63(1988)年5月創刊以降)の全文記事データベースのほか、現代用語「知恵蔵」、「朝日新聞人物データベース」が利用できます。

これらのデータベースは、館内のパソコン席でご利用いただけます。座席申込端末でお申し込みください。  
ご不明な点がございましたら、サービスカウンターにおたずねください。



### 4. 論文を見る、取り寄せる

探している論文の掲載誌がわかったら、まず山梨県立図書館で所蔵しているか調べます。

当館ホームページの蔵書検索や館内の検索端末(OPAC)で探している論文の掲載雑誌名を検索し、論文が載っている巻号があるか確認します。

書庫にある雑誌は、サービスカウンターでご請求ください。

雑誌論文は著作権法の範囲内で複写することができます。<複写料金がかかります>

当館にない場合は、国立国会図書館など他の図書館から、雑誌論文のコピーを取り寄せることができます。<複写料金・郵送料等がかかります>

2階サービスカウンターでお申し込みください。当館の利用者登録が必要です。

なお、国立国会図書館で所蔵している雑誌については、インターネットまたは郵送で個人が直接複写を申し込むこともできます。申し込みには、まず利用登録が必要です。詳細は国立国会図書館ホームページの「遠隔複写サービス」(<http://www.ndl.go.jp/jp/service/copy3.html>)をご覧ください。